

図書館に行こう!



3月

弥生・3月、木々も芽吹き花の蕾も膨らんで、春の足音がすぐそこに感じられる頃となりました。図書館ではリサイクルコーナーが移動して明るく見やすくなりました。

ご来館の際にはちょっと立ち寄ってみてください。

今月の読み聞かせ

おはなしひろば	毎週火曜日	10:30~11:00
たけのこ文庫のおはなし会	3月13日(土)	15:00~15:30
おはなしルーム	竹田幼稚園	3月4日(木) 14:00~14:30
	南部幼稚園	3月11日(木) 14:00~14:30

開館のご案内

竹田市立図書館 (TEL&FAX 63-1048)

開館時間 午前10時~午後6時 休館日 月曜日・第4金曜日

荻駅交流館図書室 (TEL&FAX 68-2200)

開館時間 午前10時~午後6時 休館日 土・日・祝日等

久住図書室 (TEL 76-0717 / FAX 76-0724)

直入図書室 (TEL 75-2211 / FAX 75-2217)

開館時間 午前8時30分~午後5時 休館日 土・日・祝日等

新刊のご案内

【一般書】

- いとまの雪 一新説忠臣蔵・ひとりの家老の生涯 上・下 [KADOKAWA] 伊集院 静
- しのぶ恋 一浮世七景 [文藝春秋] 諸田 玲子
- 天を測る [講談社] 今野 敏
- 星になりたかった君と [実業之日本社] 遊歩 新夢
- 境界線 [NHK出版] 中山 七里
- マイ・シスター、シリアルキラー [早川書房] 奥田 裕貴子、眞鍋 葉子
- 恥さらし [白水社] パウリーナ・フロレス
- 人生起き上がりこぼし [海竜社] 海老名 香葉子
- 苦汁100% 一濃縮還元 [文藝春秋] 尾崎 世界観
- NHKラジオ深夜便 文豪通信 [河出書房新社] 中川 越
- 古典で旅する茶の湯八〇〇年史 [淡交社] 竹本 千鶴
- BISES共感のエネルギー [文芸社] 八木 波奈子
- リアルでゆかいなごみ事典 [大和書房] 滝沢 秀一
- 植物生まれのやさしいお菓子 [扶桑社] 白崎 裕子
- 感染症時代のマスクの教科書 [小学館] 飯田 裕貴子、眞鍋 葉子
- 人生! 逆転図鑑 一山あり谷ありの32人に学ぶ成功の法則 [秀和システム] 早見 俊

【児童書】

- おとのさま、まほうつかいになる [佼成出版社] 中川 ひろたか 作/田中 六大 絵
- にじいろフェアリーしずくちゃん3 [岩崎書店] 友永 コリエ 作/ぎぼ りつこ 絵
- ジャレットと魔法のコイン [ポプラ社] あんびる やすこ 絵
- キャンドル [フレーベル館]
- アーサー王の世界6 一聖杯の騎士パーシヴァル [静山社] 村上 雅郁 作/遠田 志帆 絵 斉藤 洋
- ジュニア空想科学読本21 [KADOKAWA] 柳田 理科雄 著/きっか 絵
- 渋沢栄一(コミック版日本の歴史77) [ポプラ社] 加来 耕三
- 「さみしさ」の力 [筑摩書房] 榎本 博明
- 世界のすごい動物伝記 [講談社] 本・ラーウィル 文/サラ・ウォルシュ 絵 近藤 譲
- ものがたり西洋音楽史 [岩波書店]
- 999ひきのきょうだいのおやすみなさい [ひさかたチャイルド] 木村 研文/村上 康成 絵
- ひとりひとり [講談社] 谷川 俊太郎 詩/いわさき ちひろ 絵
- どろぼうねこのおやぶんさん [文芸社] 小松 申尚 文/かのう かりん 絵
- ステラとカモメとプラスチック [岩崎書店] ジョージナ・スティーブンス 作/イジー・バートン 絵
- ようこそあたらしいともだち [好学社] リチャード・スキヤリー ほか 250冊ほど入りました。

読み聞かせに
おすすめの
一冊

「さくら」

長谷川 摂子 文/矢間 芳子 絵 福音館書店

わたしはさくらソメイヨシノ、春には花を咲かせます…。ソメイヨシノの一年を長谷川さんの温かな文と矢間さんの素敵な絵で語ります。さくらの開花が待ち遠しい、かがくのとも絵本はいかがですか?



司書おすすめの1冊



一般書

「ライト・スタッフ」

山口 恵以子 潮出版社



映画会社の助監督試験に落ちた五堂頭は、運命的な出来事によって照明部に配属されると、スター俳優や名監督たちの想いに触れ、照明技師としての腕をめきめき上げていった。数年後、頭は恩人である女優・衣笠糸路に対して賞味期限切れだという周囲の心ない言葉に憤激し、ある方法を使って最高のライトを当てようとするがー。

映画が娯楽の王様だった昭和30年代。どこか懐かしく、エネルギーに溢れ、元気を与えてくれる映画全盛期の物語。著者渾身の長編小説です。

「中谷宇吉郎【雪と氷の探求者】」

児童書

清水 洋美 作/野見山 響子 絵 汐文社

子どもたちに身近なテーマですぐれた研究を行った、児童書初登場の科学者にスポットライトをあてた伝記シリーズ。「雪は天から送られた手紙であるー」マイナス30度の中で顕微鏡をのぞき続け、世界で初めて雪の結晶を人工的に作り出した中谷宇吉郎。北海道・グリーンランドなどを舞台に雪と氷の研究に情熱をそそいだ61年の人生を描きます。巻末に宇吉郎新聞、ゆかりの場所、氷の実験・雪の観察なども収録しています。



紙芝居「初代わたなべ熊四郎物語」

皆さんは渡邊熊四郎という人物をご存じでしょうか? 1840年に現在の竹田市に生まれ幼少期を竹田で過ごした後、24歳で函館に渡った熊四郎さんは、洋物店を皮切りに海運業や倉庫業などの事業を立ち上げました。さらに函館の学校、病院、公園、上水道整備などに尽力し「函館四天王」として知られています。

このたび、熊四郎さんの生誕180年、洋物店開店140周年を記念して紙芝居「初代わたなべ熊四郎物語」が完成し、市立函館博物館郷土資料館から竹田市立図書館に寄贈されました。紙芝居では熊四郎さんの幼少期から洋物店を開業するまでが描かれています。貸出もできますので読み聞かせなどに活用し、郷土が生んだ渡邊熊四郎という偉人のことを広く知っていただきたいと思います。